

## 参考：開講時予定内容

講義名	オ)経営戦略特論			
担当教員	青木 良三			
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考
<b>主題と概要</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業経営者は、変化する環境の中で、利害関係者との関係を良好に保ちながら、利益を追求している。利益を企業利潤に限定する必要はないが、この利益の最大化を狙って立案するのが経営戦略である。</li> <li>・本講義の主題は、経営戦略に関する代表的な理論を理解することにある。</li> <li>・本講義では、理論の解説にとどまらず、実際の企業の行動を取り上げ、その行動の経営戦略的な意味合いも解説する。</li> <li>・テキストは、「入門」となっているが、内容は中級レベルである。</li> <li>・2回目の授業からは、受講生が順番に発表し、質疑応答をしていく。</li> </ul>				
<b>到達目標</b>				
<p>受講生は、経営戦略論の主要な理論を理解し、身に付けることができるようになる。</p> <p>受講生は、理論のみならず実証的な分析の仕方について理解し、身に付けることができるようになる。</p> <p>受講生は、経営戦略論の観点から企業行動を評価でき、レポートに集約することができるようになる。</p>				
<b>提出課題</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心のある企業の経営戦略を授業で習った理論を使って分析しなさい」</li> <li>・理論を使いこなせない受講生は、私に相談するように。</li> </ul>				
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>				
提出されたレポートについて、授業中にフィードバックします。				
<b>評価の基準</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発言回数30点、レポート70点。</li> <li>・欠席の多い学生は減点する。</li> </ul>				
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストは、450ページあり大部であるが、15回の授業で読み終えるので、その授業のスピードについては予習が欠かせない。予習を怠らないように。</li> <li>・テキストを読んでも分からない箇所は、授業の際、私に質問するように。</li> <li>・日本経済新聞をよく読むこと。授業で頻繁に取り上げる。</li> </ul>				

<b>教科書</b>				
『経営戦略入門』	網倉久永、新宅純二郎	日本経済新聞社	3672	453213403X
<b>プリント資料及び参考文献</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>『競争の戦略』マイケル・ポーター 1982年 ダイアモンド社</li> <li>『競争優位の戦略』マイケル・ポーター 1985年 ダイアモンド社</li> <li>『企業戦略 上、中、下』ジェイ・バーニー 2003年 ダイアモンド社</li> </ul>				
<b>授業計画</b>				
<ol style="list-style-type: none"> <li>第1章 経営戦略とは</li> <li>第2章 競争優位の実現と維持</li> <li>第3章 業界の構造分析</li> <li>第4章 差別化</li> <li>第5章 コスト・リーダーシップ</li> <li>第6章 顧客価値</li> <li>第7章 競争ポジション</li> <li>第8章 製造ライフサイクル</li> <li>第9章 事業の定義と企業ドメイン</li> <li>第10章 多角化</li> <li>第11章 多角化企業の資源配分 製品ポートフォリオ・マネジメント</li> <li>第12章 垂直統合</li> <li>第13章 企業活動領域の設定と再構成</li> <li>第14章 経営戦略の策定・実行プロセス</li> <li>まとめ 経営戦略論と戦略経営論</li> </ol>				
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>				
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク		
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク		
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習は、必ずしておくように。テキストを使い、毎回1章のペースで授業を始める予定なので、そのつもりで準備しておくように。</li> <li>・テキストは、450ページあり大部であるが、15回の授業で読み終えるので、その授業のスピードについて行くには予習が欠かせない。予習を怠らないように。</li> <li>・復習は、授業で学んだ理論を使って、何を分析できるか、事例を探しをしてみてください。</li> <li>・予習に3時間、復習に1時間を目安としてください。</li> </ul>				
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストは大部であり、経営戦略論に関する豊富な学識を身に付けることができる。</li> <li>・テキストは「経営戦略入門」とあるが、理論と実証のバランスのとれた内容となっており、経営戦略論をテーマとする修士論文作成に際してたいへん役立つ。</li> </ul>				
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				
レスポンスなどの使用を予定していない。				
<b>実務経験の有無及び活用</b>				
実務経験あり。1979年から1997年まで銀行に勤務。調査や融資、ファンド運用を担当した。授業で取り上げる企業の事例について、企業分析の実務経験を踏まえたコメントができる。				
<b>備考</b>				